

令和4年度第65回福島県中学校体育大会 新体操大会要項

- 主催** 福島県中学校体育連盟 福島県教育委員会 郡山市教育委員会
福島県中学校長会 公益財団法人福島県スポーツ協会 福島県体操協会
- 後援** 郡山市
- 主管** 県中地区中学校体育連盟
- 期日** 令和4年7月22日(金)～23日(土)
22日(金) 審判会議 9:00～
開始式 実施しない
監督会 10:00～
開始通告 11:00
競技 14:00～ 女子団体 男子団体・個人
23日(土) 競技 10:00～ 女子個人
表彰式 15:30～
- 会場** 宝来屋郡山総合体育館(郡山市豊田町3-10)
- 競技種目** (1)団体 男子:自由演技のみとする。
女子:自由演技のみとする。手具は「ボール」とする。
(2)個人 男子:自由演技のみとし、手具は「クラブ」と「ロープ」とする。
女子:自由演技のみとし、手具「クラブ」と「リボン」とする。
- 参加資格** (1) 福島県中学校体育連盟に加盟の学校に在学し、校長が参加を認めた者とする。
(2) 各地区予選会を通過した一校単位で編成されたチーム、および個人とする。
- 参加人員** (1) 団体:男子 オープン(1チーム5～6名、補欠2名、音楽係1名)
女子 オープン(1チーム5名、補欠3名、音楽係1名)
(2) 個人:男子 オープン
女子 各地区6名
- 引率・監督** (1) 参加生徒の引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、所定の「部活動指導員確認書(校長承諾書)」に必要事項を記入し、参加申込と同時に提出する。なお、部活動指導員は当該校以外の引率及び依頼監督にはなれない。
(2) 監督は男女別、各校1名とする。
(3) 本大会に出場するチーム・選手の引率、監督、部活動指導員は、運動部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。
- 競技規則** (1) (公財)日本体操協会制定新体操男子規則2015年版採点規則を採用する(ジュニア・中学校男子適用規則)
(2) (公財)日本体操協会制定2022～2024度新体操採点規則とする。一部中体連ルールを適用する。2022年2月22日掲載のFIG新体操ニューズレター最新を採用する。
- 競技方法** (1) 団体競技
男子:4～6名(補欠2名)でチームを構成し、演技時間は2分45秒～3分とし、自由演技(構成+実施)の得点により順位を決定する。
女子:5名(補欠3名)でチームを構成し、演技時間は2分15秒～2分30秒とし、自由演技{難度(D)・芸術(A)・実施(E)}により順位を決定する。

- (2) 個人競技
演技時間は1分15秒～1分30秒とする。
個人総合は2種目の合計点により順位を決定する。
- (3) 種目別
各種目の自由演技の得点により決定する。
- 12 表彰 (1) 団体 1位に優勝旗、1～3位に賞状とメダルを授与する。
(2) 個人総合 1位～3位に賞状とメダル、4位～8位に賞状を授与する。
(3) 種目別 各種目1位～3位に賞状を授与する。
- 13 参加料 1名 1,500円とする。
- 14 参加申込 (1) 各学校は、参加申込書一式、参加料、参加記念章代、プログラム代を地区中体連専門委員長へ一括申し込む。
(2) 各地区中体連専門委員長は、各校からの申込書類ならびに現金を確認の上、県競技部事務局へ提出する。
(3) 県競技事務局は、抽選会時に申込書類ならびに現金を集約する。
- 15 宿泊 (1) 宿泊をしないと参加が困難な学校は、適切な危機管理対応（感染症・自然災害等）を確保するため、必ず大会事務局指定の業者に宿泊申込書をFAX送信して、申し込むこと。（指定外の宿泊施設の利用は認めない。）また、宿泊申込書の原本は参加申込書と一緒に当該競技の地区専門部委員長へ提出すること。
(2) 大会役員の配宿は、大会事務局で行い、競技役員の配宿は、各競技事務局で行う。
(3) 宿泊料金は、令和4年度福島県スポーツ団体標準宿泊料金による。
- 16 その他 (1) プログラムは有料とし、1冊800円で販売する。
(2) 参加記念章は、1個350円で販売する。
(3) 選手の交代は団体選手に限り、申込書に記載された補欠選手のみ行うことができる。申告は所定の用紙に記入し、監督会議までに受付に提出する。
(4) 監督は、必ず監督会議に出席すること。大会や競技運営についての問い合わせは、監督が行うこと。
(5) 伴奏音楽は、CD・USB等を使用することができる。各校は、伴奏用音楽器具を持参すること。
(6) 選手はそれぞれの学校マーク(3cm×3cm以上)を付けて出場すること。
(7) 競技中のアリーナへの出入りは、選手(補欠)・監督・役員・審判・音楽係とする。
(8) 写真・ビデオ撮影については許可制とし、受付に申し出ること。競技運営に支障のないように顧問は保護者への連絡をすること。
(9) コーチは、練習会場、公式練習のみ参加できる。
(10) 手具点検は、リボンの長さのみ計測する。(公式練習時)
(11) 大会期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ実施する。大会参加者は、健康保険証を持参することが望ましい。
(12) 表彰は、1日目に男子個人・団体競技、2日目に女子個人競技の表彰を行う。
(13) 大会申込は、県中体連ホームページからダウンロードした申込用紙で行うこと。
(14) 東北大会への出場について
団体：男女とも上位2チームとする。
個人：男女個人総合上位3名とする。
(15) 審判について
① 各地区は指定された審判員を派遣すること。
② 男子の主任審判は、新体操男子審判資格を有する者とし、他の審判員は体操競技の審判員が兼ねても良い。
(16) 音楽係が該当校でない場合は、監督会議時に申し出、了承を得ること。
- 17 連絡先 県専門部委員長 鈴木 敬子(桜の聖母中：024-535-3141)
開催地区専門委員長 山野邊美穂子(郡山七中：024-951-8200)

